

医療・介護のことでお悩みはありませんか?

IMSグループIMS総合サービスセンターが、みなさまからの医療・介護のご相談をお受けいたします。
詳しくはホームページをご覧ください。

来訪もしくは、お電話かホームページ【メールフォーム】よりお問い合わせください。

FREE 0800-800-1632

イムスに 03-3989-1141 (代表)

※「050」からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。

IMS総合サービスセンターのサービス内容や、IMSグループの最新情報をご覧いただけます。

<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-21-11 オーク池袋ビルディング8F

アクセス & 病院周辺環境ガイド



IMS富士見総合病院

〒354-0021 埼玉県富士見市大字鶴馬1967-1 TEL.049-251-3060(代表) <http://www.ims.gr.jp/fujimisougou/>

IMS富士見総合病院 広報誌 PLAZA IMS (プラザIMS) Vol.8 2014.1 発行/IMS富士見総合病院 地域医療連携室 発行日/2014年1月



2014年1月
Vol.8
新春号

IMS富士見総合病院

「プラザIMS」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報を伝えするコミュニケーションペーパーです。

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

昨年4月、院長を拝命し初めて迎える正月となります。地域の状況も少しずつわかってまいりました。今年もひきつづき、優しくて、おもいやりのある職員とともに、一致団結して地域医療に貢献できるよう取り組んでいきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

IMS富士見総合病院の理念は、「安全で最適な医療を提供し、愛し愛される病院として、社会に貢献する。」となっています。安全とは、質であり満足であると考えております。みなさまから、「よかったです」とよろこんでいただける診療とサービスを提供できるよう努力してまいりたいと思います。また、当院の基本方針の一つとして「急性期病院として一人でも多くの患者さまのニーズに応える。」ことを掲げております。循環器のIMS富士見、小児のIMS富士見、救急のIMS富士見、これからも推進してまいります。さらに、地域の医療機関、施設、そして在宅医療(療養)とも密接でシームレスな連携の構築にも貢献したいと考えております。

とは申しますが、連携のまえに信頼があり、信頼のまえに実績が必要です。行動がともなわなければなりません。まだまだ至らないことも多く、みなさまにはがっかりさせてしまうこともあると思います。全職員で改善し、そして前進し、理念達成のため励んでまいりたいと思います。重ねまして当院をよろしくお願い申し上げます。



院長 鈴木 洋一

新年あけましておめでとうございます。

当院におきまして、平成24年の10月に小児の二次救急、入院医療を開始し、1年以上が経過しました。入院ベッド数は、開始時は8床でしたが現在は30床を越えるベッド数となり、体制も徐々にではありますが整えております。しかしまだまだ医療機器、スタッフ等不十分な点が多くあり、今後のさらなる充実が求められていると考えています。

私たちの担当地域は入間東部地区、埼玉県南西部地区が中心となっていますが、周辺地区からの患者さまの受け入れも目標としています。平成27年には新しい病棟での診療も予定しております。将来にわたる安心安全で信頼される小児救急医療の確立が私たちの目標です。そのために地域の皆様のご協力、ご指導を必要としていますので、よろしくお願いいたします。



小児科部長 清水 久志

外来棟オープン!

平成25年9月30日(月)より、当院に新しく外来棟がオープンしました。
外来棟には、小児科・泌尿器科・耳鼻科・皮膚科・形成外科が
移動し、それぞれ診療を行っています。



新しいCT(コンピューター断層撮影法)導入

従来より時間を短縮、広範囲の撮影が可能
患者さまの検査負担を軽減!!
より詳細な検査が可能になりました。

東芝CT Aquilion™ PRIME

新しいCTになり、1回転で撮影できる範囲が従来の8mmに対し40mmに拡大し、より短時間で広範囲の撮影が可能になりました。それにより従来難しかった心臓の撮影も可能となりました。また、すべての撮影において撮影時間や息止め時間も短くなり患者さまの負担が軽減しました。

虚血性心疾患とは?

心臓の筋肉(心筋)に血流を送る3本の動脈(冠状動脈)が狭くなったり、塞がったりして、そこから先の心筋が酸素不足に陥る状態を虚血性心疾患と呼びます。
虚血性心疾患の症状は狭心症・心筋梗塞などがあります。

心臓CT検査とは?

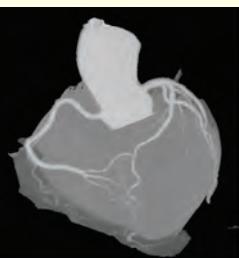
体にX線を照射し、撮影した画像をコンピューターを使い立体的にみたり、血管の中をみることで心臓の状態や動きを詳しく検査します。

心臓CT検査は入院の必要がありません。

検査にかかる時間は、30~40分くらいです。

心臓CT検査でわかること

心臓に酸素や栄養をおくる冠動脈の状態や、心臓の全体像がわかります。冠動脈が細くなり、心臓に十分な酸素がおくれなくなることによっておこる狭心症・心筋梗塞などの虚血性心疾患や、生まれながらの心臓や血管の異常などを早期に発見することができます。
また、手術後の経過なども調べることができます。



救急外来からのお願い



救急外来は救命救急を最優先としています

- + 24時間、年中無休で初期診療を行いますが、通常の外来診療を24時間365日行っている訳ではありません。通常の外来診療との違いをご理解いただきますようお願いします。
- + 救急外来は休日や夜間に発症した患者さまを普通の外来診療時間になるまで待たせて手遅れにしないためにあります。
- + 治療は応急処置が中心のため、翌日かかりつけで受診していただくことになります。



診察の順番は緊急性度順です

- + 外来診療と異なり、緊急性度が優先されますので、軽症や非緊急の患者さまはお待ちいただく場合もあります。



症状により、緊急性がないと判断した場合には、翌日の外来診療時間までご自宅での過ごし方を指導させていただきます。

- + 他の患者さまの救急処置等で診察まで長時間お待ちいただくことや、受付を一時中断させていただく場合があります。
- + 当院での治療が困難と判断した場合、他の医療機関をご紹介させていただくこともあります。

外来診療時間以外で、救急外来を受診される時のお願い

- + 専門科の医師が不在の時は、専門外の医師が診察させていただく場合もあります。
- + お薬の処方は、原則1日分のみとなります。
- + 夜間、深夜、休日加算がありますので通常の外来診療の診察料より高くなりますのでご了承ください。
- + せき、嘔吐、下痢、インフルエンザ、ノロウイルス、発疹等の感染症が疑われる場合は申し出てください。また、マスクの着用をお願いいたします。
- + 保険証、診察券(当院受診歴のある方)をご持参の上、ご来院ください。

必ず来院前に一度お電話でお問い合わせください

- + 緊急に受診すべきか判断に悩んだ時は、お電話でご相談ください。

